



第 16 回



テニュアトラック教員支援セミナー

学内公開セミナーです

日時：2014年11月6日(木) 18:00～19:00

場所：総合外来センター5階 中会議室

演者：櫻井 宏明 先生

所属：富山大学大学院 医学薬学研究部 がん細胞生物学

タイトル：「チロシンキナーゼ活性に依存しないチロシンキナーゼ型受容体の機能」

要旨：EGFRなどのチロシンキナーゼ型受容体(RTK)は、リガンド結合により細胞内のチロシンキナーゼの活性化が起こり、チロシン自己リン酸化を介して細胞内にシグナルを伝える。演者らは、炎症性サイトカインTNF- α によってEGFRのセリン／スレオニン残基がリン酸化され、EGFRのエンドサイトーシスが起こることを明らかにしてきた。これらのリン酸化にはEGFRチロシンキナーゼ活性が関与しておらず、MAPKを介したフィードバック機構であることがわかった。さらに、EGFなどのリガンド刺激時においてもEGFRのセリン／スレオニン残基のリン酸化が重要な役割を果たしていることが明らかになってきた。本講演では、主にEGFRのセリン／スレオニンリン酸化のシグナル伝達機構や生理機能について概説するとともに、がん悪性化に関わる他のRTKのセリン／スレオニンリン酸化制御機構の重要性についても紹介する。

■お問い合わせ

統合医科学研究所 古川 徹(内線29675) furukawa.toru@twmu.ac.jp

総合研究所 竹宮孝子(内線30425) takakot@lab.twmu.ac.jp